大会当日① スタッフ、ボランティアスタッフの安全対策

■大会に関わるスタッフは以下の対策を行います。

- ・大会当日の朝、37.5度以上の発熱や咳、全身痛などの症状がある場合、大会運営スタッフ、ボランティアスタッフは退場し、運営に携わりません。
- ・運営スタッフにマスクを配布し、大会運営にあたります。
- ・受付、給水、記録証発行、チップ回収等の担当スタッフは、アルコール消毒のうえ、使い捨てのポリ手袋を着用します。

大会当日② 参加者への注意喚起

■選手にはイベント当日も以下の注意喚起を行います。

- ・体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛、倦怠感、息苦しさ、味覚や臭覚の異常などの症状がある場合）は参加はできません。ご帰宅をお願いします。
- ・マスクを着用して、ご来場ください。
- ・参加の受付、着替え、表彰式等の運動・スポーツを行っていない間については、マスクの着用をお願いいたします。

大会当日③ 会場内での対応について

■運営スタッフは感染拡大防止のためマスクを着用のうえ、運営にあたります。

【入場口について】 ※施設側で対応の際は施設対策要項に基づいておこないます。

- ・入場口を限定し、手指消毒剤を設置いたします。
- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響で、検温スタッフの人員が不足しております。入場前に備え付けの体温計で各自検温のご協力をお願い致します。37.5度以上だった場合は、参加を御遠慮頂きますようお願い致します。

【受付方法について】

- ・受付窓口をアクリル板、透明ビニールカーテン等で遮蔽いたします。
- ・受付スタッフはアルコール消毒のうえ、使い捨てのポリ手袋を着用いたします。

【更衣室】

- ・更衣室は定期的に使用を中断し、喚起の時間帯を設けます。
- ・更衣室は定期的に喚起に努めますが、密閉空間となりやすく、飛沫感染のリスクが高まります。極力会話をしないようご協力をお願いいたします。

【ゴミ箱】

- ・ゴミ箱は、給水所以外は設置いたしません。原則各自でのお持ち帰りをお願いさせていただきます。
- ・鼻水、唾液などがついたゴミは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、お持ち帰りください。

【給水所】

- ・給水所の飲料については、使い捨ての紙コップに入れて提供いたします。
- ・給水スタッフはアルコール消毒のうえ、使い捨てのポリ手袋を着用いたします。

【救護室】

- ・救護室での処置において、発熱・咳・咽頭痛などの症状に関して診ることはできませんので、それらの症状が出た場合は、速やかにご帰宅くださいますようお願いいたします。

大会当日④ 運営方法について

■開会式

開会式は行いませんが、注意事項をマイクにて説明させていただきます。マイクの届く範囲でお聞きください。大会当日に配布するパンフレットにも同じ内容を記載します。

■表彰式・閉会式

- ・各部門の上位入賞者には賞状と副賞がございますので、大会本部にて個別にお渡しいたします。
- ・閉会式は行いません。

大会当日⑤ 競技方法について

■スタート時の対応

- ・混雑緩和を目的にスタート方法は、スタート時の人数を小分けにするウェーブスタート方式を採用します。（コース幅により1グループ30名前後 ※参加人数により異なります。）

■ゴール時の対応

- ・ゴール時はチーム全員でのゴールが可能ですが、感染状況によってはアンカー1名のみでゴールとさせて頂く場合がございます。また、当日の記録証の発行は行いません。

■タスキリレー時の対応

- ・リレー時は、他のチームとの間隔を空け、タッチや大声での会話や応援の自粛をお願いします。

■競技中の対応

- ・競技中以外はマスク着用をお願いします。
- ・イベント中のハイタッチや大声での会話、応援等は自粛をお願いします。
- ・唾を吐く行為は禁止します。
- ・競技中及び待機中も互いの距離を保ちソーシャルディスタンスを心がけるようにお願いします。